

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1838-N

エポニックスWP-NS

1. 一般名 水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料（長寿命形兼用）二液内部混合型塗装機用
2. 規格 JWWA K 157：2013 水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法
3. 特徴
- 1) 耐水性に優れ、塗膜硬度が高く、耐摩耗性に優れている。
 - 2) 二液内部混合型ホットエアレス塗装機を用いることによりスプレー塗装が可能。
 - 3) 無溶剤形のため溶剤臭がない。

4. 塗料性状

項目		内容			
容姿		2液性（主剤、硬化剤別売り）			
荷姿		主剤：21 kg、硬化剤：18 kg （主剤2缶＋硬化剤1缶がセットとなります）			
色相		グレー（N-4 近似）、ブルー			
密度 （23℃）	塗料	1.42（グレー）			
	揮発分	—			
加熱残分		97%（グレー）			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	8時間	5時間	4時間	3時間
	硬化	33時間	20時間	11時間	6時間
標準膜厚		300 μm			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界（下限～上限）		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 塗装は専用の2液ホットエアレス塗装機によるエアレス塗装により行う。
- (3) 塗装前に主剤、硬化剤をそれぞれの圧送タンクに入れ、2液ポンプを低圧で作動させ塗料を循環し、規定温度（推奨塗料加熱温度 50℃）に昇温させておく。
- (4) 本塗料は主剤（グレー用・ブルー用：白色）と硬化剤（グレー用：黒色、ブルー用：青色）が2液ホットエアレス塗装機のスタティックミキサーにより混合され、規定の塗色となる。
- (5) 2液ポンプを高圧作動に切り換え、エアレス塗装を開始する。
- (6) 塗装を中断する場合は、直ちに2液混合部（スタティックミキサー、ホース）を洗浄する。洗浄が不十分だと詰まりを生ずる危険がある。
- (7) 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。
- (8) 太陽光に晒されると経時変色するので、色調を重視する場合は太陽光への暴露を避ける。

5. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		プラスト法：ISO-Sa2 ^{1/2} (SSPC-SP10)			
調合法		主剤：70部、硬化剤：30部（重量比） 主剤：硬化剤＝2：1（容量比）			
塗料予熱温度範囲		50～60℃（主剤、硬化剤）、推奨 50℃			
可使時間	20℃	40℃	50℃	60℃	
	40分	—	5分 （ガン停止可能）	—	
塗装雰囲気		温度 5℃以上、湿度 85%以下			
洗浄用シンナー		エポニックスWP-S Tシンナー内面用			
塗装法	塗装方法	2液ホットエアレス塗装機によるエアレス塗装			
	希釈率	希釈はしない			
	理論塗布量	429g/m ²			
	標準使用量	730g/m ²			
	標準膜厚	300 μm			
エアレス塗装条件		1次圧：0.5MPa (5 kg/cm ²) 2次圧：13MPa (130 kg/cm ²) 以上 チップ：525～733			
硬化促進加熱温度		80℃以下			
塗装間隔	温度	5℃※	10℃※	20℃	30℃
	最小	48時間	24時間	11時間	6時間
	最大	7日	7日	7日	7日

※10℃以下の場合、塗り重ね時にはサンドペーパー等による目粗しが必要。

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物（可燃性固体類）	指定可燃物（可燃性固体類）
有機溶剤区分	適用外	適用外
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 通水までの期間

養生温度	10℃	23℃
工場塗装(300A相当)	塗装後7日以上	塗装後7日以上
現場塗装(700A相当)	塗装後7日以上	塗装後7日以上

9. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.09

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。